



ささおか 笹岡ゆうこの 6つの提案

抜粋編

1! 物価高に立ち向かう緊急経済対策

子どもの給食、高齢者施設の食材購入費へ独自加算を拡充し、「食事の質」を落とさせない。
若年単身層、子育て世帯などに対し、家賃補助を拡大。

2! すべての子どもが、自分の歩幅で学び、はばたける東京へ

子どもたちが直面する困難は、必要な制度と支援で乗り越える。
教育予算を拡充し、経済的事情で未来を諦めさせない。

3! 福祉や介護、「生きる」を支える

訪問介護の報酬引き下げに対して、都独自の補填措置を講じます。
武蔵野市で進めている医療と介護の連携を、都全体に広げていきます。

4! 災害に強く、環境にやさしい都市を子どもたちへ

子ども・妊婦・障がい者・高齢者などが安全に過ごせる避難所を整備。
都市開発の中で歴史的景観やまちの個性、緑が失われないように必要な制限を。

5! 農は、未来の東京の“いのちの土台”

都内産野菜を優先的に給食で使用。食の安全を守り、安定性の高い販路を築く。
農業公園の拡充や認定農業者制度改革で、公共財としての「農ある空間」を守り育てる

6! 武蔵野の自治を都政に生かす

地域の声を都政の力に変える。

まんなか世代の
リアルを
政治の声にする

食費も生活費も、じわじわ
苦しい。今、家庭では

笹岡：「最近の暮らしで感じる変化はありますか？」

Aさん：「うちは最近、朝ごはんをパンに変えました。お米も高いのでカリフォルニア米に挑戦しましたがやっぱり食感が違って…。結局、国産のブレンド米です。」

Bさん：「うちは子どもが3人いるので、夜ごはんは5合必要。実家が農家で送ってもらえますが、普通に買っていたら破産してるかもって思いますね。」

Cさん：「特にお肉が高いから、エリンギを細かくしてお肉に混ぜて、かさ増ししています。」

Dさん：「ガソリン代も上がって、車に乗るたびにため息。お菓子も、前みたいに気軽に買えなくなりました。」

Fさん：「出費は倍近くになるのに収入は簡単には倍にはならない…」

笹岡：「こうした“家計のリアル”に、もっと政策の力を届けていきたいです。」

教育費のリアル

Dさん：「習い事、高すぎませんか？うちはレギュラーで通すのではなく、単発のイベントとかに参加させてます。」

Bさん：「わかる！。子どもの教育って、なんでもお金がかかる。」

Cさん：「どの塾に入れるのか、入れないか、何個習い事をするのか、しないのか、みんなそれぞれ。」

Fさん：「体験格差を感じる。」

笹岡：「家庭の経済力で子どもにかけられる教育費が全然違う。これじゃ、格差が広がる一方ですよ。」

増える子どもの不登校

Fさん：「不登校になっても、フリースクールって高いんですよ…。小学生だと選択肢がすごく少ないし、勉強しづらい。」

Eさん：「親の負担も大きいし、働き方も変えなきゃいけないから収入が心配。気持ちにも余裕がなくなります。」

Fさん：「若者支援のNPOに関わっているけど、若者の生活困窮者が増えていて生育格差を仕組みでフォローしたいと思う」

笹岡：「自分の歩幅で学べて、フェアにはばたける選択肢があることが大事ですよ。」



皆さまの声でつくる
笹岡ゆうこの政策。
ご意見は提案募集中！
詳しくはホームページ
をご覧ください。

